

2022年12月12日



報道関係者各位

主催者：特定非営利活動法人 海洋環境研究機構

「働く船の見学会」を開催しました！

2022年11月26日、27日 【場所】ながさき水辺の森公園

特定非営利活動法人海洋環境研究機構は、「働く船」を通じて海や船の仕事への関心を高める目的で船の見学会をメインとした「働く船の見学会」を11月26日、27日に開催しました。当日は働く船の乗船見学の他に水中ドローン等の体験やVRゴーグルによる船内体験を実施し、子供たちをはじめ多くの皆さんに喜んでいただきました。

このイベントは、次世代へ海を引き継ぐために、海を介して人と人とがつながる“日本財団「海と日本プロジェクト」”の一環です。



イベント概要

- ・開催概要：「働く船の見学会」～「働く船」を通じて海や船の仕事等の関心を高める目的で開催見学会の他、「水中ドローン体験」「ドローン体験」「VRゴーグルによる船内体験」を実施
- ・日 程：2022年11月26日（土）、27日（日）
- ・開催場所：長崎水辺の森公園
- ・参加人数：約1000名（アンケート回収枚数363件）
- ・協力団体：長崎総合科学大学（後援）
- ・後 援：長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、長崎県海砂生産協同組合、十八親和銀行

働く船の見学会

✓特徴～今年建造した最新の砂利採取運搬船への乗船体験

使用した船舶：第五十八金栄丸（全長105.65m、全幅20m、トン数4,760トン）

✓伝えたいポイント/こだわったポイント

- ・「働く船」に乗船して船の大きさや特殊な機器類を見て海や船の仕事への関心を喚起すること
- ・船の大きさやより多くの機器類を見学できるよう2つの見学ルートを設定し、各ポイントに機器類の説明用ポスターを掲示。見学のみにとどまらず「学び」の要素を多く取り入れました。

✓参加者の様子

- ・「めったに乗ることのできない船で良い体験になった。」「説明が丁寧で分かりやすかった。」等、参加者の満足度は高かった。



水中ドローン体験/VRゴーグルによる船内体験

- ✓特徴～体験型の企画展の開催（水中ドローン/ドローン体験教室、VRゴーグルによる船内体験教室等）
水中ドローンの操作やVRゴーグルによる船内探索で普段できない体験を学びにつなげる企画
- ✓伝えたいポイント/こだわったポイント
 - ・体験型の企画展をメインに開催。展示物を見るだけでなく来場されたお客様が体験することで満足度を高め、海や船への関心を高めることに注力しました。
- ✓参加者の様子～水中ドローンの操作等を通じ、お客様は喜ばれていました。



参加した子ども・保護者からの声

- ・5歳の息子がロボットに興味を持ち始めており、船やドローン等の実物を見れてとても良い経験になりました。（30代、女性）
- ・実際に働く船に乗る機会なんてなかなかなく、船の怖さを歩いてみて知り、働く人のありがたさを感じました。おもしろかった。（10代、男性）
- ・普段できない体験ができてとてもよかったです。海の仕事に子供が興味を持ちました。（40代、女性）
- ・とても楽しいイベントでした。もっと分かりやすく宣伝したらたくさんの方が集まったと思います。貴重な体験をありがとうございました。（30代、女性）
- ・ポスター等の掲示など説明が分かりやすかった。海水を真水にかえることができる船だと聞いて驚きました。スゴイ！（60代、女性）
- ・楽しかった！めったに乗ることができない船だと思うので良い体験になりました。（10代、男性）
- ・子供と一緒に来ました。見学会をはじめどこのブースも丁寧に教えていただき、とても楽しく教育にもよかったです。ありがとうございました。（40代、女性）

団体概要

団体名称 : 特定非営利活動法人 海洋環境研究機構
本社所在地 : 長崎市小江町 2734 番地 85
電話番号 : 095-801-3371
代表理事 : 内田 恭浩
設立 : 2021年11月11日
URL : <https://k-cube.or.jp/>
活動内容 : 海洋環境の改善、海洋資源の有効活用に関する事業等



さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、時に心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、子どもたちをはじめ全国の人が「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、オールジャパンで推進するプロジェクトです。

<https://uminohi.jp/>

<お問い合わせ先>

団体名 : 特定非営利活動法人 海洋環境研究機構
電 話 : 095-801-3371

担当者名 : 佐伯
メールアドレス : info@k-cube.or.jp